

# 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	健康リスクコミュニケーション学講座( 補助等 )
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 2: 42-49
Issue Date	2022-03-22
URL	<a href="http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1728">http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1728</a>
Rights	©2022 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-23T13:00:04Z

健康リスクコミュニケーション学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和2	補助・助成	大規模環境汚染に対する合理性・持続可能性を包括した環境修復フレームワークの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	保高徹生	田上恵子, 林誠二, 駒井武, 上野雄史, 村上道夫, 勝見武, 長野宇規, 岩崎雄一, 竹田宜人, 羽島有紀
令和2	補助・助成	病院排水に由来する多剤薬剤耐性菌の不活化技術の開発と有効性評価	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	東剛志	白井優, 村上道夫
令和2	補助・助成	遷延性悲嘆障害の多層的治療技法の開発と効果検証および生物学的基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中島聡美	白井明美, 竹林由武, 伊藤正哉, 小西聖子, 吉池卓也, 須賀楓介
令和2	補助・助成	幸福余命の算出と環境及び災害関連健康リスク評価への適用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	村上道夫	竹林由武, 野村周平, 坪倉正治, 小野恭子
令和2	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子
令和2	補助・助成	強迫症に対する予後改善パッケージプログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林由季	竹林由武, 堀越勝
令和2	補助・助成	小規模な臨床試験に適用可能な患者報告式アウトカムの反応シフトの検出手法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	竹林由武	
令和2	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋結
令和2	国内共同研究	リスクコミュニケーション活動の効果評価指標の体系化と効果検証の実践	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業(放射線の健康影響に係る研究調査事業)	環境省	村上道夫	

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和2	国内共同研究	福島第一原発事故後の相双地域における健康弱者の緊急避難時およびその後の健康影響と課題調査	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医 科学研究拠点	及川友好（受入 研究代表者：村 上道夫）	
令和2	国内共同研究	福島第一原発事故後の相馬地方における長期的ながん検診受診率とその関連因子の検討	放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究	放射線災害・医 科学研究拠点	尾崎章彦（受入 研究代表者：村 上道夫）	

### 循環器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和2	補助・助成	大動脈弁狭窄症の発症メカニズムにおけるDNA損傷・細胞老化の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石田隆史	
令和2	補助・助成	心不全病態におけるがん進行機序の解明-脳・心・腫瘍連関への治療介入-	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	及川雅啓	
令和2	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦	
令和2	補助・助成	心不全における腹部臓器血流と腸内細菌叢に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣	
令和2	補助・助成	クローン性造血に着目した心不全に対する新しい治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹石恭知	
令和2	補助・助成	肺高血圧症と脂質代謝異常の接点-治療標的・バイオマーカーとしてのMT1-MMP	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一	